

6月村議会定例会報告

村議会定例会が6月6日に開かれ、条例改正等2議案が審議され、いずれの議案も原案どおり可決されました。

補正予算

一般会計補正予算(第2号)
(内容)歳入歳出予算の総額にそれぞれ280万円を追加し、歳入歳出予算の総額を19億2680万円とするものです。

人事案件

東秩父村教育委員会委員の任命について
(内容)委員の宮崎義明氏が平成30年7月31日をもって任期満了となるので、新たに江原誠一氏を任命するものです。

東秩父消防団 消防庁長官表彰旗受章



防ポンプ自動車で広報巡回にて警戒を促し、火災予防のPRに努めています。

それらの功績を称えられ、消防思想の普及、消防設備の整備、その他の災害の防衛に関する対策の実施について、その成績が特に優秀で、かつ、他の模範と認められる消防機関であるとして、平成30年3月7日、国技館で行われた自治体消防制度70周年記念式典において「消防庁長官表彰旗」を授与されました。これは、平成10年に消防庁長官表彰「竿頭綬(表彰旗に準ずる消防機関に贈られる賞)」を受けて以来、2度目の表彰となります。

の当たりにし、皆さん感動されたようです。

高田団長には、受章式に出席した際の状況や章を受けたことに対する心境について、「なかなか出席する機会のない厳粛なる式典であって、大変緊張しました。しかし、このような表彰旗をいただくことができ、光栄に思います。このような章をいただくことができましたのも、地域住民の皆さまや温かく支援してくださった多くの関係者の皆さまのご理解ご協力のおかげです。」と嬉しさと感謝を語っていたいただきました。

これからも、地域の安全・安心を守り、住民からの一身の信頼のもと、活動し続けていたたくよう、住民一同お願いいたします。

地域の人々を守る新たな決意と出発 小川消防署東秩父分署開署式

5月31日(木)、比企広域市町村圏組合小川消防署東秩父分署にて「小川消防署東秩父分署開署式」が多くの来賓を迎え厳粛に執り行われました。

東秩父分署は、昭和49年5月より本村大字坂本地内にて業務を開始し、本村の重要な防災の拠点として災害に対処してきましたが、建物の老朽化や救急需要の拡大などの理由から、村民の皆さんから早期の改築を強く望まれていました。

そこで、平成30年3月に本村大字御堂のふれあい広場隣地に新庁舎を建設し、現在は新天地にて業務を開始しています。

開署式では、比企広域市町村圏組合森田光一管理者による式辞の後、ご協力をいただいた地域住民の方に感謝状および記念品が贈られ、分署の概要の説明や来賓のご挨拶などをいただき、閉式となりました。



東秩父分署の方々にはこれからも、村民の皆さんを大切に、地域に根付いた業務を行っていただきたいと思えます。

東秩父消防団は、東秩父村が誕生した2年後の昭和32年に発足され、61年もの間、地域住民の安寧秩序保持のため、火災をはじめとするその他各種災害に団員が一致協力し、水火災等による被害を最低限にとどめてきました。

また、本村は約8割が山林地域に属し、林野火災が多い地域特性から、消防団は山火事の予防に傾注し、林野火災対応訓練等の各種訓練を積極的に実施しています。さらに、乾燥注意警報発令時や強風時においても消防ポンプ自動車での巡回や、火災予防のPRに努めています。



▲消防庁長官表彰旗